

第7回匝瑳市まち・ひと・しごと創生市民会議 会議録

開催日時
平成30年8月21日(火) 13:30~15:30
開催場所
匝瑳市役所議会棟第3委員会室
出席者
太田市長 委員長 鎌田元弘 副委員長 大木三喜男 委員 下妻一夫、田邊久利、大塚榮一、岩井清、荒川裕司、加瀬健司、杉本直樹、江波戸友美、加瀬功一 (事務局) 企画課：大木課長、林まちづくり戦略室長、伊藤副主査 産業振興課：岩瀬主査、木内副主査
欠席者
委員 椎名勤、川口泰弘

※委員については敬称略

会議内容
【次第】 1 開会 2 委嘱書交付 3 あいさつ 4 自己紹介 5 議事 (1) 副委員長の選出について (2) 匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について (3) 地方創生推進交付金を活用した事業の効果検証について (4) その他 6 閉会 【議事内容】 (1) 副委員長の選出について 副委員長を大木三喜男氏に決定した。

会議内容

(2) 匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について資料に基づき事務局から説明した。主な質疑・意見は次のとおり。

《委員長》

御質問、御意見等ありましたらお願いします。

《委員》

進捗度の判定は、誰が行ったのでしょうか。

《事務局》

まず、各担当課が事務局と調整しながら判定案を作成しました。次に、市長を本部長とし、各課長を本部員とした庁内組織である匝瑳市まち・ひと・しごと創生本部会議で判定案の内容の確認を行い、決定しました。

《委員》

進捗度の評価は高いですが、数値目標等の実績値は芳しくないと思います。進捗度と数値目標等の実績値がうまくつながっていないのではないのでしょうか。

また、取組項目が多いため、内容を精選する必要があると思います。現状のままでは、市民にとって目に見える実績をあげられないのではないのでしょうか。

《事務局》

本総合戦略は平成31年度までを計画期間としていますが、現段階では国の方針等が未確定な状況ではあるものの、次期総合戦略を策定することも想定されています。その際には、内容を精選していきたいと思います。

《委員》

項目は多くても良いですが、例えば、今年度は〇〇を重点的に取り組むといった視点が必要だと思います。

《委員長》

他にいかがでしょうか。

《委員》

地方自治体の業務は多岐に渡るため、御苦労が多いと思います。早急に実績をあげるのは難しいですが、様々な分野と連携しながら取り組んでいただきたいと思います。

《委員長》

他にいかがでしょうか。

《委員》

「高校生とみどり平工業団地企業との意見交換会」を実施しています。5ページにあるKPI「市内企業と若者のマッチング支援による就職者数」の実績が0人となっていますが、間違いはないのでしょうか。

《事務局》

高校から実績値の公表は控えたいとの申出があったため、当該取組に対する実績値は0人としています。

会議内容

《委員》

その点はこちらでも承知していますが、実際に0人だったのでしょうか。

《事務局》

実際に就職した生徒が数名いると聞いています。

《委員》

その他、インターンシップを受け入れた実績もあるので、効果があったと考えています。今後は、ランチミーティングのような気軽な形式で継続していければと思います。

4ページのK P I「地域外からの企業誘致数」については、みどり平工業団地内で今後1社増える可能性があります。用地や遊休地に関する問い合わせは多いため、金融機関等と連携しながら取り組んでいきます。

《事務局》

担当課からは、平成30年度の企業誘致実績が既に1件あると聞いています。

《委員》

圏央道の整備による波及効果が、今後は匝瑳市にも表れてくると思います。

《委員長》

数字には表れない地域の動き等について情報共有を図るとともに、他市の事例研究等を行いながら連携を密にして進めていくことが大切です。すぐに数値には表れないかもしれませんが、取組の「芽」となる部分を見つけ、育てることが重要だと思います。数字だけにとらわれすぎず、目標に向けた取組を進めていただきたいです。

ただし、基本目標の4にある連携の視点は、全ての取組の底力となる部分ですので、進捗度が低いのが残念です。

さて、高校の話題もありました。他に御意見等いかがでしょうか。

《委員》

匝瑳高校の生徒のほとんどが大学に進学しているため、卒業後は東京近郊に出て行ってしまいます。大学卒業後に戻ってくる生徒は少なく、職業も公務員や医療関係等に限定されています。そのような状況の中で、匝瑳高校ではキャリア教育を推進しています。具体的には、インターンシップを通して地元にある仕事を知り、体験する取組を、医療編、看護編、教職編、成田空港編等に分けて行っています。この取組を通して、大学で学んだことを地元で活かすといった姿勢を身につけて欲しいと思います。

また、先日、地域の方から高校生のおいさつに対するお褒めの手紙をいただきました。このことを生徒にも伝え、匝瑳市をおいさつにあふれたまちにしようと呼びかけました。明るく元気なまちづくりに協力していければと思います。高校としてできることは取り組んでいきますので、「開かれた学校づくり委員会」等を通じて御意見いただければと思います。

《委員》

椿海地区の区長をやっていますが、地区で3つのマナーアップ活動を行って

会議内容

います。1つ目は交通マナー、2つ目はゴミのないまちを目指したごみ拾い活動、3つ目はあいさつに関する活動です。あいさつに関しては、小学生からポスターや標語をいただき、地区内に掲示しています。今後も継続し、地域活性化のきっかけとしていきたいです。

《委員長》

他にいかがでしょうか。

《委員》

先日、匝瑳市で農業をやりたいという人が来て、空き家を紹介して欲しいと言っていました。昨今、同様の考えを持つ人が多くなっていると思いますので、市の施策と合わせて積極的にPRして、匝瑳市に興味を持ってもらうことが必要だと思います。

《委員長》

農業に関連して、他にいかがでしょうか。

《委員》

農協として、新規就農者の支援や後継者の確保・育成等に取り組んでいます。魅力ある農業を目指していきますが、農業を始めるには困難を伴うことも多いため、本気で就農を目指す人には、行政と連携をしながら支援していきたいと思います。東総地区において農業は主要産業であるため、農業の魅力拡大や所得増大に向けて取り組んでいきます。

《委員》

住まいの面では、市の空き家バンクもぜひ活用して欲しいと思います。

宍粟市では、空き家とセットである場合の農地取得の下限面積を3,000㎡まで下げたと聞いています。匝瑳市でも取り組んでみてはいかがでしょうか。

《事務局》

匝瑳市でも既に検討しており、空き家とセットである場合の下限を1アールに設定できるよう農業委員会と調整しています。

《委員》

1アールでは少ないような気もしますが、効果的な制度設計をお願いします。

《事務局》

本格的な就農だけでなく、家庭菜園を行いたいというニーズもあるため、引き続き検討を進めます。

《委員》

家庭菜園から始まる就農も考えられるので、推進していただきたいと思います。

《委員長》

起業数も増えているようですが、他にいかがでしょうか。

《委員》

起業の面ではかなり効果がでていると思います。今後も、人的支援等、様々な面で金融機関を御活用ください。

会議内容

企業誘致や空き公共施設の活用に関しても、マッチングに向けた支援に取り組んでいきたいと思えます。

金融のみならず情報支援等様々な面を通して、地域活性化に協力していきます。

《委員長》

関連して、他にいかがでしょうか。

《委員》

3年ほど前に小規模企業振興基本法が成立し、国からの支援が出ています。比較的新しい制度のため、活用について検討を進めていきたいと思えます。

最近、市内の東小笹に都市部から移住してきた人と知り合いました。そのような人たちのグループができていて、リーダー格の人も最近匝瑳市に移住したと聞いています。彼らの関心は食の安全にあり、実際に米作り等も行っているようです。このような人たちとうまく連携していければと良いと思えます。今週末にふれあいセンターでイベントが開催されるようですが、御存知ですか。

《事務局》

承知している部分もあります。

《委員長》

こういう具体的な部分が広がっていくと良いですね。

時間も少なくなってきましたが、他にいかがでしょうか。

《委員》

6ページに「効果的な観光情報の発信」とありますが、もう少し祇園祭を外部にPRする必要があります。

商店街の状況は空き地や空き店舗が増加しているため芳しくないですが、行政は何もしてくれていない。他の商店も同様に感じていると思えます。

《委員長》

具体的に、行政からの支援として何を期待しますか。

《委員》

例えば、八日市場サービス券会で使用しているカード発行のための機械は、事業者が500万円程度を負担し合って購入しています。その機械代金程度は、支援していただきたいと思えます。近隣市を含め、他の市町村では全て行政が負担しています。商工会に補助金を出しているようですが、事業者には支援を受けている実感がありません。

《事務局》

本日いただいた御意見については、関係各課等で情報共有し、その中で調整した上で解決に向けて動いていきたいと思えます。

《委員長》

他にいかがでしょうか。

《委員》

「高校生とみどり平工業団地企業との意見交換会」を開催し、双方に効果があったと感じています。今後は、より広域で取り組んでいければ良いと思えます。

会議内容

す。

《事務局》

海匠地域振興事務所と海匠3市が連携し、子どもたちに地域の仕事を知ってもらうイベントを行っています。その点について補足いただいてもよろしいでしょうか。

《委員》

毎年6月に県民の日を記念して「さんさん★フェスタ」を実施しており、子どもたちに地元の企業や仕事を知ってもらうイベントを開催しています。他から移住してもらうことも大切ですが、人口の流出を防ぐ視点も重要ですので、地元の良いところを小さいうちから知ってもらえればと思います。今年度は銚子で開催し、約4,500人が来場しました。来年度は匝瑳市で実施予定です。

(3) 地方創生推進交付金を活用した事業の効果検証について

資料に基づき事務局から説明した。主な質疑・意見は次のとおり。

《委員長》

御質問、御意見等ありましたらお願いします。本会議と飯倉駅前地区まちづくり協議会双方のメンバーとなっている委員もいらっしゃいますが、いかがでしょうか。

《委員》

事業主体である社会福祉法人九十九里ホームは、県内及び市内有数の福祉施設であり、匝瑳市活性化の一翼を担う存在であると思います。(この事業の事業地内にある)サービス付き高齢者向け住宅への移住により人口増加が見込めますが、問題は実際に移住してくれるかどうかです。

匝瑳市全体が魅力あるまちになることがポイントだと思いますので、本会議の皆様にも御協力いただきたいと思います。

また、総合戦略については、実施していることを羅列しているだけで、面白みに欠けます。これが行政の限界で、国の決めた方針でこの戦略を作っていることによるもので、構造的な原因があると思います。また、私も様々な委員会に出席してきましたが、(各計画の変更等の)意見はほとんど反映されませんでした。

行政はよくPDCAサイクルを回すと言っていますが、実際に回してはいないと思います。PとDで終わってしまっていて、1回しか実施しない。実施した実績のみで一定の評価がなされていることが多く、また、達成基準を低くしすぎるのも良くない。PDCAサイクルをもっと深掘りして欲しいと思います。実施するだけでなく、施策の効果があったのか、失敗したのなら原因は何か、しっかり検証していただきたいです。

《事務局》

PDCAサイクルのCとAが弱いのは、私どもも感じています。また、評価の指標にはアウトプットとアウトカムがありますが、行政ではアウトプットの指標が多いと感じます。アウトプットの指標では実質的な施策の効果があつた

会 議 内 容

のか疑問が残ります。PDCAサイクルのCとAを深掘りしつつ、アウトプットではなくアウトカム指標で、実質的な成果を求めるように行政も変わっていかなくてはならないと思います。

《事務局》

各施策が成功しているどうか、説明が不足していることもあり、うまく各施策の内容をお伝えできていないと感じました。今後、気を付けていきたいと思っています。

《委員長》

アウトプットでなくアウトカムの指標をしっかりと設定し、PDCAサイクルを深掘りして欲しいと思います。

(4) その他

《委員長》

委員の皆様から何かございますか。

《一同》

なし。

《委員長》

事務局から何かありますか。

《事務局》

市では、情報提供の一環として、各種委員会の議事録を市ホームページで公開しています。つきましては、本日の会議の議事録等についても市ホームページで公開する予定ですので、よろしくお願いたします。

以 上